

胆膵外科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。なお、この臨床研究は附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。

[研究課題名] 膵癌術前治療後の病理学的奏功の臨床的意義に関する多施設共同国際後ろ向き研究

[研究責任者名・所属] 関西医科大学 外科 里井壮平

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] コロラド大学 マルコ デル キアロ 外科教授

[研究の目的]

膵癌に対する術前治療後の病理結果から、最適な治療レジメン・予測因子を明らかにすることを目的とする

[研究の方法]

○対象となる患者さん

術前治療を受けた膵癌の患者さんで、2010年1月1日から2018年12月31日までの間に関西医科大学にて膵切除を受けている方

○利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、既往病歴、腫瘍局在・サイズ、TNM分類、術前治療前・治療後の腫瘍マーカーの値、治療効果判定（RECIST）、切除可能性分類、術前化学療法または放射線療法レジメン内容、術式内容、手術日、術後90日以内の合併症、病理検査結果、術後補助療法の内容、再発日、再発部位

この研究は、当院で治療を行った患者さんで実施します。上記のカルテ情報は、解析のために、コロラド大学に（アメリカ・コロラド州）に、電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2021年4月30日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

2020年4月9日

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

大阪府枚方市新町 2-5-1

関西医科大学 胆膵外科 研究責任者 里井壮平

電話 072-804-0101 (内線 56131)